

# 1998年度 観察会報告

観察会担当幹事 吉田悦子  
etsuko yoshida

## 第21回観察会

日時：1998年7月11日(土) 10:00~15:00  
場所：船橋県民の森  
講師：吹春俊光氏  
担当幹事：佐野悦三、大作晃一  
参加者数：83名  
採集種数：50種

梅雨真っ盛りの関東地方でしたが当日は好天に恵まれました。受付を担当していた私は遅れて出発したためか、なかなかキノコを見つけることができません。蒸し暑いし、キノコは無いしで疲れ気味。それでも今勉強中の Scleroderma (ニセシヨウロ属)などを採集しました。

同定会場に集合するとどうでしょう。キノコがたくさん採れているのではないですか。会員の採集能力おそろべし。キタマゴタケなども出ていました。生えているところを一度見てみたいものです。

午後から千葉菌類談話会の誇る吹春さんによる同定と解説に一同熱心に聞き入りました。また、小林さんによるアセタケ属の解説もありました。

季節がら蚊が多数発生してちょっと辛い観察会でしたが、充実した一日を過ごせました。そうそう、終了後に有志で近くのファミリーレストランに行き、軽くジョッキを傾けた人達もいたことも合わせて報告します。

## 第22回観察会

日時：1998年10月3日(土) 10:00~15:00  
場所：泉自然公園  
講師：本郷次雄滋賀大名名誉教授  
担当幹事：阿部代始子、石田いし子  
参加者数：95名  
採集種数：88種

98年は異常気象とかで季節のめぐりがなんだか変でした。関東地方では梅雨明けが遅れ、ほとんど夏らしい夏がやって来なかったのが災いしたのか、この秋はキノコが少ないように感じました。今回はハラタケ日の権威でいらっしゃる本郷先生をお迎えての観察会です。盛況でした。それから仙台から安藤さん、京都からはDNA塩基配列に基づく日本産テングタケ属の分子系統の研究をされている田中さん、小田さんも参加されました。また、英国から千葉大真菌医学研究センターに来ておられる David Wood さん、中国から千葉大へ留学中の何小明さんが参加されました。当会の観察会の印象はいかがだったでしょうか？

午後から本郷先生による同定、解説と講演がありました。全国のキノコの会に引っぱりだこの先生はとてもお元気で、次々と迅速に同定され、一つ一つに詳しく解説を加えられていきました。先生の周りは黒山の人だかりで、とても近づけません。このあたり、対策が必要かもしれません。また次回を楽しみにいたしましょう。

夜は千葉市内のピアホールで先生を開き懇親会が催され、夜遅くまで盛り上がりました。みなさん、お疲れさまでした。

### 採集記録—暫定版—

アカチャツエタケ、アラゲキクラゲ、ウラダロニガイグチ、オオツルタケ、オオホウライタケ、カゴタケ、キアミアシグチ、キタマゴタケ、クロアザアワタケ、クロハツ、クロハツモドキ、ケシヨウハツ、コテングタケモドキ、サケバタケ、サマツモドキ、ザラツキキトマヤタケ、シロタマゴテングタケ、スミゾメヤママイグチ、タマゴテングタケモドキ、チャコブタケ？、ツルタケ、テングタケダマシ、トキイロヒラタケ、ヒトクチタケ、ヒビワレシロハツ、ヒメコナカブリツルタケ、ヒメヌメリイグチ？、フクロツルタケ、フサヒメホウキタケ、ヘビキノコモドキ、ホウネンタケ、ボタンイボタケ、マツオウジ、マンネンタケ、ミドリニガイグチ、カヤタケ属、チチタケ属2種、テングタケ属2種、ニセシヨウロ属1種、ヒメツチグチ属1種、ホウライタケ属3種、硬質菌1種、地下生菌1種(コルメラ有)

### 採集記録—暫定版—

アイバシロハツ、アカキツネガサ、アカチャツエタケ、アカヤマドリ、アミガサホウライタケ、アメリカウラベニイロガワリ、アヤマイグチ、アンズタケ、イチヨウタケ、イロガワリ、ウスヒラタケ、ウラダロニガイグチ、オオキヌハダトマヤタケ、オオヒメノカサ、オオホウライタケ、オクヤマニガイグチ、オニイグチモドキ、オニタケ、カニノツメ、カノシタ、カレバキツネタケ、カワムラフウセンタケ、カワリハツ、ガンタケ、キアミアシグチ、キイロイグチ、キシメジ、キシヨウゲンジ、キッコウアワタケ、キヌハダトマヤタケ、キヒダカラカサタケ、クリイロイグチ、クリイロカラカサタケ、クロアザアワタケ、クロハツ、クロハツモドキ、クロラッパタケ、ケシヨウハツ、ケロウジ、コウジタケ、コガサヤマドリ、コテングタケモドキ、コバヤシアセタケ、コフキサルノコシカケ、サケツバタケ、サマツモドキ、シロオニタケ、スギエダタケ、スッポンタケ、スミゾメヤママイグチ、ダイダイガサ、タマゴタケ、タマチヨレイタケ、タマムクエタケ、チチタケ、チャオニテングタケ、チャヌメリカラカサタケ、チヨウジチチタケ、ツエタケ、ツチグチ、ツチナメコ、ツルタケ、ドウシタケ、ドクツルタケ、ナカダロモリノカサ、ナスコンイッポンシメジ、ナラタケモドキ、ニオイコベニタケ、ニオイワチチタケ、ノウタケ、ノボリリュウ、ハタケシメジ、ハラタケモドキ、ヒトヨタケ、ヒメコウジタケ、ヒメヌメリイグチ、ビロードツエタケ、ヒロヒダタケ、ベニヒダタケ、ミキイロウスタケ、ミドリニガイグチ、ミネシメジ、ヤマドリタケモドキ、ヒメムキタケ属2種、ホウキタケ類1種、硬質菌1種、不明1種

## 第23回観察会

日時：1998年10月24日(土) 10:30～15:30

場所：市原市民の森

講師：吹春俊光氏

担当幹事：吉田幸二、吉田悦子、徳田あゆみ

参加者数：50名

採集種数：52種



当日はあいにくの雨模様でしたが、毎回人気のキノコが出るためか50名の方が参加されました。例のごとく最後に出発したので、大型キノコには出会えませんでした。同定会場にはなぜか立派なキノコが所狭しと並んでいるのでした。本当にみなさんはどこを歩いているのでしょうか？不思議です。この日は横山さん、浅井さんがオオオイタマシメジを持参されました。浅井さんが解説されていたのですが、会費の計算をしていた私は聞き逃してしまいました。吹春さんに後でお聞きしたところ、「オオオイタマシメジはコガネタケの菌塊の上に寄生しているようで、コガネタケが群生する近くにコガネタケの黄色い菌塊をよく見つけることができるそうです。この菌塊の時点で寄生しているらしく、菌塊自体がかなりにおいます。今年、たくさん発生したようで岩手県和賀郡の人から子実体が発生したものを送ってもらいました。子実体はこの塊の表面にヤグラタケのように小さなものがたくさん発生します。」とのコメントをいただきました。この日、市原市民の森からは大量のウラボネホテイシメジやサクラシメジとともに1本のバカマツタケが採取されました。私はここで何度かバカマツタケの香りがかかっているのですが、一度も発生現場を見たことも食べたこともありません。いつかは出会ってみたいものです。

さて観察会の後片づけにいつも精を出して下さるのが

石田さんです。この日は観察会の始まる前も同定会場の東屋をきれいに掃除して下さっていました。きっと観察会場を貸して下さる管理事務所の印象もぐっと良くなったことでしょう。石田さん、ありがとうございます。

### 採集記録一暫定版一

アカヤマタケ、アシナガヌメリ、アミガサホウライタケ、イヌセンボンタケ、ウラボネホテイシメジ、オニタケ、オニフウセンタケ、カキシメジ、カバイロツルタケ、謎のカヤタケ(白くて食用にしているもの)、カラカサタケ、カレエダタケ?、ガングタケ、キイボカサタケ、キシメジ、キショウゲンジ、キチチタケ、キチャハツ、クサウラボネタケ、クロコタマゴテングタケ、クロハツ、コガネタケ、サクラシメジ、サケバタケ、ササクレヒトヨタケ、サマツモド、シロハツ、センボイチメガサ?、タマゴタケモドキ、チチタケ、ツチスギタケ、ツチナメコ?、トビチャチチタケ、ナラタケ、ニオイキシメジ、ニガクリタケ、バカマツタケ、ヒトヨタケ、ヒメカバイロタケ、ヒメキシメジ、フサヒメホウキタケ、ミネシメジ、ヤブレベニタケ、オトメノカサ属1種、キクラゲ類1種、キシメジ科1種、キツネタケ属1種、ホウキタケ類2種、硬質菌3種ナラタケモドキ、ニオイコベニタケ、ニオイワチチタケ、ノウタケ、ノボリリュウ、ハタケシメジ、ハラタケモドキ、ヒトヨタケ、ヒメコウジタケ、ヒメヌメリイグチ、ピロードツエタケ、ヒロヒダタケ、ベニヒダタケ、ミキイロウスタケ、ミドリニガイグチ、ミネシメジ、ヤマドリタケモドキ、ヒメムキタケ属2種、ホウキタケ類1種、硬質菌1種、不明1種



# inocolumn

キノコラム

1998年に出版されたキノコ本②

小沼 良子

昨年出版された主なキノコ関係の書籍です。どれも手元に置きたい一冊。

(書名、著者・編者、発行、定価)

「きのこブック」伊沢正名写真 平凡社 ¥1,524

コロナブックスシリーズの新刊。伊沢さんの写真をメインにして、執筆陣が超豪華にして多数。我が会の延髄の吹春氏も執筆、見ごたえ読みごたえあり。

「青森のきのこ」本郷次雄、長沢栄史監修、工藤伸一、手塚豊、米内山宏著 グラフ青森 ¥2,667

各地の図鑑も次々と出版されています。千葉も出したいですね。

「きのこの名優たち」ジョルジュ・ベッケル解説、ロラン・サバティエ絵、本郷次雄 監修、永井眞貴子訳 山と溪谷社 ¥2,500

キノコに顔があって、人格(キノコ格?)があったら...。楽しいイラストとユーモアでキノコの特徴や名前がどんどん覚えられそう。フランスの「Le Gratin Des CHAMPIGNONS」の邦訳書。

「きのこの語源・方言事典」奥沢康正、奥沢正紀著 山と溪谷社 ¥2,000

山溪さん、昨年は2冊も出してくれました。約6,000項目に及ぶキノコの語源と方言名が50音順で引けるとっても便利な事典。